



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 気管支喘息

息が喘ぐ(あえぐ)と書く喘息は、風邪でもないのに咳が続く、喉がゼイゼイになったり、痰(たん)が出たりして呼吸が苦しくなる病気です。花粉やハウスダストなど、アレルギーを引き起こすアレルギーが特定できるアトピー型喘息(小児喘息の9割がこのタイプ)とアレルギーを特定できない非アトピー型喘息の2つのタイプがあります。治療法としては吸入療法が中心になり、特に症状がなくても、気道では慢性的に炎症が続いているので、その炎症を抑え、発作を予防するための吸入治療が多くなわれています。また、生活環境のコントロールも重要です。アレルギーが特定できている場合は、それらを近づけないようにしましょう。その上で、風邪の予防、気温・湿度の急激な変化に敏感に対応する事が大切です。特に季節の変わり目などはより一層の注意が必要です。

在宅シリーズ 訪問看護

介護者のペースで急いで食事をさせたり、無理にトイレに行かせたり、オムツを交換したりすると、お年寄りが介護を拒否する事があります。確かに大変なことも多いと思いますが、出来るだけご家族の方に協力してもらいながら、「今日の気分はいかがですか?」「痛い?」「大丈夫?」「何か食べたいものがありますか?」「ゆっくりでいいからね」な

どとなるべく声をかけながら介護するようにしましょう。薬を飲むのをいやがられたら好物に混ぜたり、お風呂に入りたがらない時には、「温泉気分を味わいましょうよ」「いい湯加減ですよ」といった雰囲気作りと工夫も大切です。

ひげとくま



最近、幼い子供の子育てに不安を感じているお母さんが多いのではないのでしょうか。何で子供が泣いているのか分からないう、夜鳴きを続ける子供にイライラする。そして言う事をきかない子を無視したり、時には手を挙げてしまうこともあるように感じます。幼い時から良い事、悪い事を言い聞かせる事はとても大切なことですし、夜鳴きに関しても、必ず原因があるはず。子育てにイライラする前に、早めに相談にいらしてください。

4階リハビリ・今月のあて 土用丑の日 縁起五行に込められたおまじないの本気の効用

先月に続き、土用の丑の日のお話です。十二支の丑は、五行節(木火土金水)の中で「水」の性質にあたります。五行節では互いに他の性質を助けたり、打ち消したりしながら、五つの要素が自然界で上手に循環していると考えられています。つまり火気の

一番極まる夏の土用、水の気を持つている丑の日、丑と同じ「う」のつく水生生物で比較的手に入りやすい栄養満点の「うなぎ」、これを食することは、水の気で火の気を打ち消し、体の中の邪気(旺盛になり過ぎた火気)を追い出し、栄養を十分に取り入れる、と考えられたのでしよう。このような考え方は、日本や中国の先人達が自然現象を細かく観察し、東アジアに共通する思想として体系付けていったものです。現在も漢方や鍼灸などの東洋医学の基礎理論を支えています。

すたっふ便



春の七草は、七草粥で皆さんも御存知のことと思いますが、秋の七草はどうでしょう。「万葉集」に山上億良が「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花」と詠んだ花のことで、萩(はぎ)・桔梗(ききょう)・葛(くず)・撫子(なでしこ)・藤袴(ふじばかま)・女郎花(おみなえし)・尾花(すき)です。春の七草は身体のため、秋は心の養生のため、十五夜にお団子と一緒に飾ってみてはいかがでしょう。

九月の予定ー長月

休診日 七日 十四日

十五日 二十一日

二十二日 二十八日

※十六日竹林先生はお休みです。午後4時半より院長が診察します。

※四階リハビリは毎週木曜日お休みです。

